

令和5年度

事業報告書

令和5年4月1日から

令和6年3月31日まで

公益財団法人 鉄鋼環境基金

令和5年度事業報告 目次

	ページ
I. 研究助成事業（公益目的事業）	1
1. 助成研究の募集	1
2. 応募状況	2
3. 助成研究の決定	2
4. 助成研究者との技術交流会、研究討論会並びに製鉄所見学会の開催	4
5. 助成研究成果表彰	5
6. 助成研究成果の普及・広報活動	6
II. 調査・研究事業（その他目的事業）	6
III. 管理・運営	7
1. 会議開催状況	7
2. 広報活動	11
3. 事務局体制	11
附属明細書について	11

I. 研究助成事業（公益目的事業）

1. 助成研究の募集

一般研究助成事業と大規模研究助成事業のうち、大規模研究助成事業に関しては該当する設定課題が無く、本年度は一般研究助成事業のみ助成研究の募集を行った。

助成研究の募集は、従来通り一般研究助成枠と若手研究助成枠（研究内容としては、より基礎的なものも含む）を設けて行った。募集に当っては、募集要綱に下記に示す鉄鋼業に関連する環境保全技術課題を例示するとともに、課題の背景についても解説し、さらに特に関心のある課題として、下記の5項目を掲げることで、応募者のテーマ選定の参考とした。

本年度の公募は、環境研究実施法人窓口へのメール連絡と財団ホームページへの募集要綱の掲載、さらに環境関係の研究を実施している国公立大学、高等専門学校及び独立行政法人を含む公的研究機関等 329 法人に直接送付することにより行った。

なお、募集要綱については、本年度も経費節減のため直接送付せず、メールにより連絡し、当財団のホームページからダウンロードする方式を採用した。

また、例年どおり、申請書様式のホームページからのダウンロード、メール添付での申請書の受領など、応募者・事務局双方の便宜を図った募集活動を行った。

<鉄鋼業に関連する環境保全技術課題の具体例>

(1) 地球環境問題

- ①鉄鋼製造プロセスにおける抜本的な二酸化炭素排出削減技術
- ②カーボンニュートラル実現に向けた革新的基盤技術
- ③未利用エネルギーの有効活用技術
- ④地球温暖化に対する適応技術
- ⑤鉄鋼製造プロセスにおける環境汚染物質発生抑制技術

(2) 資源循環技術（副産物、廃棄物の利用促進技術・効率的処理技術）

- ①鉄鋼スラグ（高炉スラグ、転炉スラグ、電気炉スラグ等）の利用技術及び高付加価値化技術
- ②プラスチックリサイクルなど循環型社会形成に資する技術
- ③鉄鋼ダスト、鉄鋼スラッジ、鉄鋼スラグ、廃レンガの減量化、減容化、再利用技術
- ④水銀汚染廃棄物の効率的処理技術
- ⑤他産業の副産物及び廃棄物の鉄鋼業への有効利用技術

(3) 大気環境保全技術

- ①微小粒子状物質 (PM_{2.5}) および光化学オキシダント対策技術および測定技術・影響評価
- ②大気環境対策技術の省エネルギー化、低コスト化、高効率化
- ③水銀等重金属類の低減技術

(4) 土壌・水質保全技術

- ①水処理技術の高効率化、排水中重金属等の除去・回収技術および測定技術・影響評価
- ②土壌・地下水汚染に関する浄化技術および測定技術・影響評価
- ③閉鎖性海域の環境対策技術

<特に関心のある技術課題>

- (1) 鉄鋼製造プロセスにおける抜本的な二酸化炭素排出削減技術
- (2) カーボンニュートラル実現に向けた革新的基盤技術
- (3) 未利用エネルギーの有効活用技術
- (4) 鉄鋼スラグ（高炉スラグ、転炉スラグ、電気炉スラグ等）の利用技術及び高付加価値化技術
- (5) プラスチックリサイクルなど循環型社会形成に資する技術

2. 応募状況

応募数は、一般 93 件、若手 29 件の合計 122 件で、前年度の 115 件に対して 7 件増加したが、少ないレベルであった。分野別には下表の通りである。

分類	申請件数			申請額 (千円)	研究費総額 (千円)
	総件数	一般	若手		
地球環境	62	47	15	88,007	143,828
資源循環(副産物)	28	22	6	38,962	57,862
大気環境	15	11	4	19,982	38,280
土壌・水質	17	13	4	22,050	29,300
その他	0	0	0	0	0
合計	122	93	29	169,001	269,270

3. 助成研究の決定

本年度の助成金の枠は、75 百万円とした。上記応募案件の中から、技術委員会の選定を経て第 57 回臨時理事会において、一般助成研究 37 件と若手助成研究 18 件の合計 55 件を決定した。

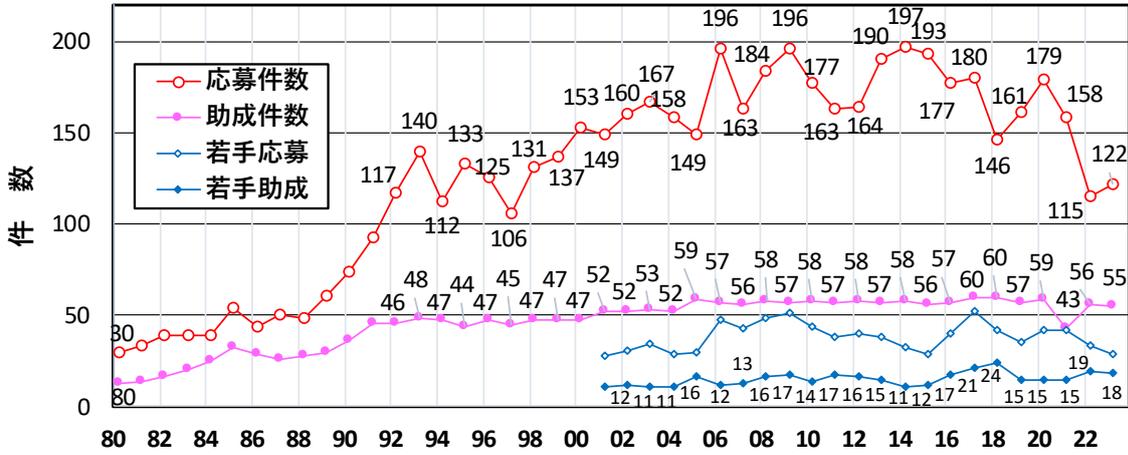
分類	採択件数			助成額 (千円)	研究費総額 (千円)
	総件数	一般	若手		
地球環境	32	21	11	45,010	78,470
資源循環(副産物)	11	8	3	14,980	19,580
大気環境	6	4	2	7,995	17,580
土壌・水質	6	4	2	7,500	12,200
その他	0	0	0	0	0
合計	55	37	18	75,485	127,830

本年度を含めた過去の応募・助成件数は下記の通り。

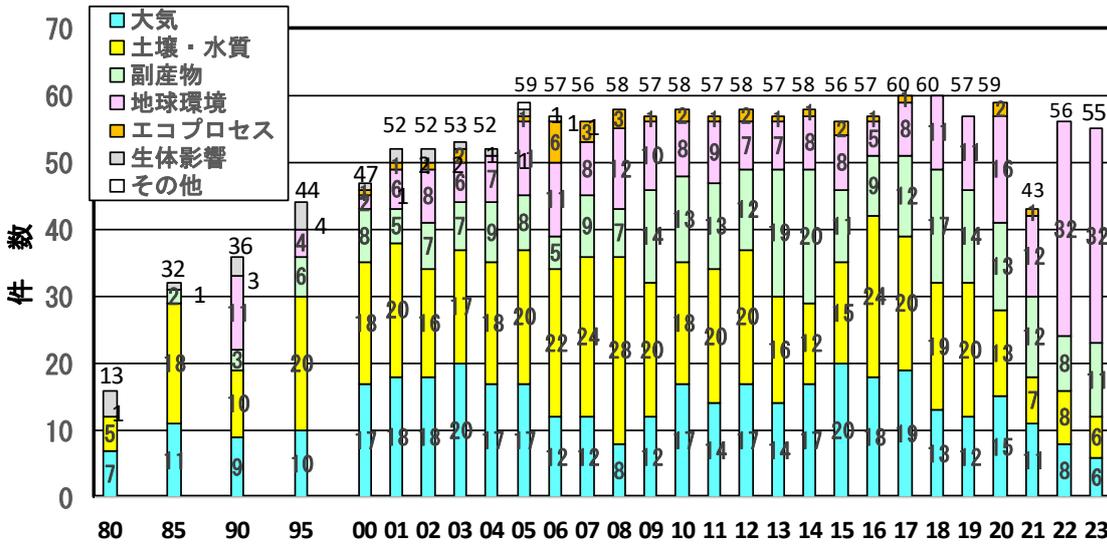
		令和 5 (採択率)	令和 4 (採択率)	令和 3 (採択率)	令和 2 (採択率)
応募 件数	応募総件数	122	115	158	179
	継続研究	34	19	35	33
	新規研究	88	96	123	146
	初応募	30	26	42	41
	若手研究	29	33	42	42
	大学から	110	103	128	141
	高専から	4	7	8	13
研究所等から	8	5	22	25	
採択 件数	採択総件数	55 (45%)	56 (49%)	43 (27%)	59 (33%)
	継続研究	29 (85%)	18 (95%)	25 (71%)	25 (76%)
	新規研究	26 (30%)	38 (40%)	18 (15%)	34 (23%)
	初採択	19	17	10	19
	若手研究	18 (62%)	19 (58%)	15 (36%)	15 (36%)
	大学から	51	52	38	49
	高専から	2	2	1	1
研究所等から	2	2	4	9	

- (1) 令和 3 年度に助成額を減らして採択件数を減らした結果、令和 4 年度以降の応募件数が減少した。
- (2) 令和 4 年度に助成額を戻した結果、令和 5 年度の実応募件数は、わずかながら増加した。
- (3) 令和 4 年度から地球環境分野に重点をおいた公募を行ってきた結果、地球環境分野の実応募件数が増えて、目標の 50% を超える採択率を達成した。
- (4) 令和 5 年度は大気環境および土壌・水質の実応募件数が更に減少した。その結果、採択割合が全体の 22% まで低下した。新規応募者が増加するよう、大気環境学会誌および土壌・水質環境学会誌への広告を実施していく。

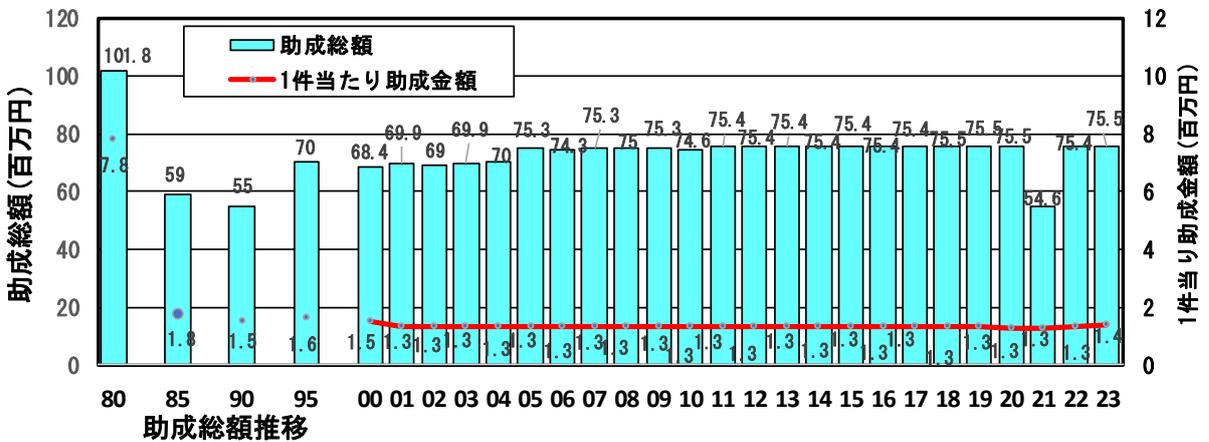
鉄鋼環境基金の助成実績



応募件数・助成件数の推移



分野別助成件数の推移



助成総額推移

4. 助成研究者との技術交流会、研究討論会並びに製鉄所見学会の開催

(1) 技術交流会

技術交流会は、助成研究の初期段階において、助成研究者の研究現場を鉄鋼技術者が訪問し、産学連携の視点から研究課題や研究の進め方等の議論を行い、技術交流を深めることを目的としている。

令和5年度は、下記の通り、助成研究者10名と技術交流会を実施した。

(現地訪問とWEB会議との併用で開催)

- ① 令和5年12月13日 助成者：慶應義塾大学 森 樹大
テーマ：光吸収性粒子の帯電分布の測定法の開発と実大気観測
- ② 令和5年12月20日 助成者：奈良先端科学技術大学院大学 網代 広治
テーマ：工場排熱エネルギーを高効率で輸送する蓄熱材粒子の創製
- ③ 令和6年1月11日 助成者：東京大学 一色 弘成
テーマ：磁気熱電効果の定量・高空間分解能可視化技術の開発
- ④ 令和6年1月16日 助成者：山口大学 李 柱国
テーマ：鉄鋼スラグを原料とするCO₂固定型セメントの開発
- ⑤ 令和6年1月24日 助成者：海上・港湾・航空技術研究所 小池 賢太郎
テーマ：鉄鋼スラグ水和固化体の耐海水性の促進評価法の提案
- ⑥ 令和6年1月30日 助成者：鳥取環境大学 戸苺 丈仁
テーマ：マイクロ波非熱的作用のメタン発酵微生物への作用機構解明
- ⑦ 令和6年2月6日 助成者：北見工業大学 小原 伸哉
テーマ：CO₂ハイドレートを用いた高エネルギー密度の電力貯蔵装置
- ⑧ 令和6年2月16日 助成者：東京工業大学 三井 和也
テーマ：CO₂排出量削減に向けた次世代型鋼構造建築物の設計体系創設
- ⑨ 令和6年3月14日 助成者：東京大学 橋本 崇史
テーマ：膜ろ過における病原ウイルス阻止機構の解明
- ⑩ 令和6年3月21日 助成者：海洋研究開発機構 菊池 早希子
テーマ：鉄鋼スラグを「食べる」微生物による炭素固定・海洋肥沃化の検証

(2) 研究討論会

研究討論会は、助成研究が進んだ段階で助成研究者を招待し、研究成果・今後の研究課題について、産学連携の視点から鉄鋼技術者と討論することを目的としている。

令和5年度は、下記の通り、3回の研究討論会を実施した。(鉄鋼会館でWEB会議との併用で開催)

- ① 令和5年度 第1回 大気環境&土壌・水質分野 令和6年2月22日
 - ・報告者：長崎大学 鳥羽 陽 (令和4~5年度：一般研究)
テーマ：生体高分子を用いる大気粒子の新たな毒性評価法の開発
 - ・報告者：秋田県立大学 木口 倫 (令和4~5年度：一般研究)
テーマ：ドローンを用いた森林上空大気中のガス状水銀の動態解明
 - ・報告者：金沢大学 原 宏江 (令和4~5年度：一般研究)
テーマ：RO膜のカスケード利用による地下水汚染PF₆Aの除去
 - ・報告者：金沢大学 本多 了 (令和3~5年度：一般研究)
テーマ：微生物カプセルMBR法によるPFAS汚染水処理プロセスの開発
- ② 令和5年度 第2回 地球環境分野&資源循環分野 令和6年2月28日
 - ・報告者：山口大学 今井 剛 (令和4~5年度：一般研究)
テーマ：気体溶解技術による新規二酸化炭素の分離・回収・利活用プロセス
 - ・報告者：熊本県立大学 松崎 弘美 (令和4~5年度：一般研究)
テーマ：CO₂を原料とした生分解性乳酸ベースポリマー生合成法の開発

- ・報告者：静岡大学 Kim Kyeongmin（令和4～5年度：若手研究）
テーマ：鉄鋼スラグの有機炭素固定能力を利用した炭素隔離技術の開発
- ・報告者：大分工業高等専門学校 山本 大介（令和4～5年度：一般研究）
テーマ：高炉セメントC種の早期強度改善と二次製品への実装へ向けた研究
- ③ 令和5年度 第3回 地球環境分野&資源循環分野 令和6年3月18日
 - ・報告者：九州大学 佐川 康貴（令和4～5年度：一般研究）
テーマ：鉄鋼スラグを用いた低炭素コンクリートの海洋浮体構造物への適用
 - ・報告者：宇部工業高等専門学校 杉本 憲司（令和4～5年度：一般研究）
テーマ：カルシア改質土による人工藻場の有機炭素固定評価
 - ・報告者：岐阜大学 朝原 誠（令和4～5年度：若手研究）
テーマ：DXによる製鉄用CO2フリー水素製造システムの最適化検討
 - ・報告者：東京大学 山本 光夫（令和4～5年度：一般研究）
テーマ：沿岸域の藻場拡大に向けた陸域由来の鉄及び有機物の動態評価

(3) 製鉄所見学会の開催

鉄鋼業に対する助成研究者の理解を深めていただくことを目的に、前年度の助成研究者を対象に第14回製鉄所見学会を4年ぶりに開催した。

期 日 令和5年8月29日
見学先 日本製鉄株式会社九州製鉄所大分地区
参加者 採択者13名、技術委員2名

5. 助成研究成果表彰

助成研究のさらなる充実、助成研究者へのインセンティブ向上を目的に、第14回助成研究成果表彰を実施した。表彰対象者への募集の結果、17名の応募があり、技術委員会による審査により各賞の候補者を選考し、令和5年6月2日の第55回通常理事会において各賞受賞者を決定した。表彰式並びに受賞記念講演会を令和5年9月26日に鉄鋼会館(及びWEB)において開催した。

賞の名称	表彰対象者
理事長賞	環境技術及び学術の進歩を通して鉄鋼業や社会に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者 受賞者：胡桃沢 清文 北海道大学大学院工学研究院・准教授 テーマ：高炉スラグ固化体作製のための高炉スラグの反応促進技術の開発
技術委員長賞	環境技術及び学術の進歩に、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた若手助成研究者 受賞者：玄 大雄 東北大学多元物質科学研究所・助教 テーマ：単一粒子分光分析による大気中の不均一光化学反応過程の動態解明
鉄鋼技術賞	鉄鋼環境技術の進歩を通して鉄鋼業に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者 受賞者：今中 信人 大阪大学大学院工学研究科・教授 テーマ：鉄鋼排水中の有害有機物質を高効率で浄化可能な新規環境触媒

6. 助成研究成果の普及・広報活動

(1) 助成研究成果概要集の発行

令和4年度分22件（令和3年度の3件を含む、大気関係：5件、土壌・水質関係：2件、副産物関係：5件、地球環境関係：10件）を概要集として取りまとめ、研究成果の活用を推進するため、オンラインで公開した。

(2) 助成研究成果報告書データベースの一般公開

財団の主事業である環境研究助成事業の成果をより広く社会に還元・普及していくことを目的に、助成した環境研究の成果報告書等を収録したデータベース「FERAS」をホームページ上に一般公開している。「FERAS」には、昭和55（1980）年からの成果報告書が収録されており、今回令和4年度分22件を収録して、合計1118件となった。

* FERAS : The Fruits of the Environmental Researches Aided by SEPT

(3) 研究成果報告会の開催

助成研究の成果をより広く活用していただくことを目的に公開の報告会を鉄鋼会館でWEB会議との併用で開催した。

【令和5年度成果報告会】

期日：令和6年3月6日

参加者：23名

テーマ：大気環境分野

報告者 ○ 埼玉大学 教授 関口 和彦

マイクロバブリングによるVOCガスと微小粒子の液相捕捉処理技術の開発と応用
〔平成28年度～30年度 一般研究〕

○ 金沢大学 連携研究員 池盛 文数

人為起源二次有機粒子の実態解明を目指した観測・解析手法の開発
〔令和元年度～2年度 若手研究〕

○ 熊本県立大学 教授 張 代洲

越境拡散微小粒子状物質中のバイオエアロゾルに関する研究
〔令和元年度～2年度 一般研究〕

○ 九州大学 教授 弓本 桂也（WEB参加）

機械学習を用いた大気汚染予測システムの予測精度向上
〔令和2年度～3年度 一般研究〕

II. 調査・研究事業（その他目的事業）

調査・研究事業については、本財団の主事業である助成事業に資するため、鉄鋼業に関わる環境保全技術上の諸課題を踏まえ、広く知見の収集・調査を行った。具体的なテーマは以下の通り。

「カーボンニュートラルに向けた世界の製鉄方法に関する動向調査」

日鉄総研株式会社（令和5年10月～令和6年3月）

中間報告会、最終報告会を実施。カーボンニュートラル実現に向けた技術開発の方向性の検討に活用できる。

Ⅲ. 管理・運営

1. 会議開催状況

〔1〕 理事会

理事会の開催状況は次の通りである。

(1) 第 53 回臨時理事会（令和 5 年 4 月 26 日）（「決議の省略」による開催） 議題

① 理事候補者の件

（補欠就任）令和 5 年 5 月 8 日付

朝比奈 健 JFE スチール株式会社常務執行役員

（辞任） 令和 5 年 5 月 8 日付

大河内 巖 JFE スチール株式会社専務執行役員

② 評議員候補者の件

（補欠就任）令和 5 年 5 月 8 日付

内藤 敏幸 普通鋼電炉工業会事務局次長

（辞任） 令和 5 年 5 月 8 日付

田村 一之 普通鋼電炉工業会事務局長

③ 第 24 回臨時評議員会招集の件

(2) 第 54 回臨時理事会（令和 5 年 5 月 15 日）（「決議の省略」による開催） 議題

① 理事長互選の件

（理事長） 令和 5 年 5 月 15 日付

朝比奈 健 JFE スチール株式会社常務執行役員

(3) 第 55 回通常理事会（令和 5 年 6 月 2 日） 議題

① 令和 4 年度事業報告書（案）の承認の件

② 令和 4 年度決算報告書（案）の承認の件

③ 理事候補者の件

（補欠就任）令和 5 年 6 月 22 日付

畠山 史郎 アジア大気汚染研究センター所長、東京農工大学名誉教授

（辞任） 令和 5 年 6 月 22 日付

岡田 光正 環境省環境研究総合推進費プログラムディレクター、広島大学名誉教授、
放送大学名誉教授

④ 評議員候補者の件

（就任） 令和 5 年 6 月 22 日付

鈴木 英夫 日本製鉄株式会社常任顧問

岡田 光正 環境省環境研究総合推進費プログラムディレクター、広島大学名誉教授、
放送大学名誉教授

（再任） 令和 5 年 6 月 22 日付

小田 直樹 電気事業連合会立地電源環境部長

石井 伸治 一般社団法人日本産業機械工業会常務理事

吉村 宇一郎 石油連盟常務理事

仮屋 和広 JFE スチール株式会社スラグ事業推進センタースラグ企画部長（理事）

泥 俊和 株式会社神戸製鋼所理事安全・環境部長

羽田 進 大同特殊鋼株式会社環境部長
内藤 敏幸 普通鋼電炉工業会事務局長
(退任) 令和5年6月22日付
船越 弘文 日本製鉄株式会社副社長執行役員
坂本 和彦 埼玉大学名誉教授

⑤ 監事候補者の件

(再任) 令和5年6月22日付
高村 守 公認会計士
柏原 史隆 鐵鋼スラグ協会総務部長

⑥ 第14回(令和5年度)助成研究成果表彰(案)の件

⑦ 令和5年度寄附金募集の件

⑧ 第25回定時評議員会招集の件

報告事項

① 代表理事(理事長、専務理事)の職務執行状況

(4) 第56回臨時理事会(令和5年6月30日)〔決議の省略〕による開催)

議題

① 第26回臨時評議員会招集の件

(5) 第57回臨時理事会(令和5年10月19日)

議題

① 第44回(令和5年度)研究助成金交付の件

② 技術委員会規程の改訂について

③ 評議員候補者の件

(補欠就任) 令和5年10月30日付

横川 晋太郎 電気事業連合会立地電源環境部長

(辞任) 令和5年10月30日付

小田 直樹 関西電力株式会社南港発電所副所長

④ 第27回臨時評議員会招集の件

報告事項

① 代表理事(理事長、専務理事)の職務執行状況

(6) 第58回臨時理事会(令和5年11月20日)〔決議の省略〕による開催)

議題

① 第28回臨時評議員会招集の件

(7) 第59回通常理事会(令和6年3月12日)

議題

① 令和6年度事業計画書(案)承認の件

② 令和6年度収支予算書(案)承認の件

③ 令和6年度資金調達及び設備投資の見込み(案)承認の件報告事項

報告事項

① 第45回(令和6年度)環境助成研究の募集について

② 令和5年度内閣府立入検査結果について

③ 代表理事(理事長、専務理事)の職務執行状況

〔2〕 評議員会

評議員会の開催状況は次の通りである。

(1) 第24回臨時評議員会（令和5年5月8日）（「決議の省略」による開催）
議題

① 理事選任の件

（補欠就任）令和5年5月8日付

朝比奈 健 JFE スチール株式会社常務執行役員

（辞任） 令和5年5月8日付

大河内 巖 JFE スチール株式会社専務執行役員

② 評議員選任の件

（補欠就任）令和5年5月8日付

内藤 敏幸 普通鋼電炉工業会事務局次長

（辞任） 令和5年5月8日付

田村 一之 普通鋼電炉工業会事務局長

(2) 第25回定時評議員会（令和5年6月22日）

議題

① 令和4年度事業報告及び承認の件

② 令和4年度決算報告及び承認の件

③ 理事選任の件

（補欠就任）令和5年6月22日付

畠山 史郎 アジア大気汚染研究センター所長、東京農工大学名誉教授

（辞任） 令和5年6月22日付

岡田 光正 環境省環境研究総合推進費プログラムディレクター、広島大学名誉教授、
放送大学名誉教授

④ 評議員選任の件

（就任） 令和5年6月22日付

鈴木 英夫 日本製鉄株式会社常任顧問

岡田 光正 環境省環境研究総合推進費プログラムディレクター、広島大学名誉教授、
放送大学名誉教授

（再任） 令和5年6月22日付

小田 直樹 電気事業連合会立地電源環境部長

石井 伸治 一般社団法人日本産業機械工業会常務理事

吉村 宇一郎 石油連盟常務理事

仮屋 和広 JFE スチール株式会社スラグ事業推進センタースラグ企画部長（理事）

泥 俊和 株式会社神戸製鋼所理事安全・環境部長

羽田 進 大同特殊鋼株式会社環境部長

内藤 敏幸 普通鋼電炉工業会事務局長

（退任） 令和5年6月22日付

船越 弘文 日本製鉄株式会社副社長執行役員

坂本 和彦 埼玉大学名誉教授

⑤ 監事選任の件

- (再任) 令和5年6月22日付
高村 守 公認会計士
柏原 史隆 鐵鋼スラグ協会総務部長

報告事項

- ① 第14回(令和5年度)助成研究成果表彰
② 第44回(令和5年度)環境助成研究応募状況(速報)
③ 令和5年度寄附金募集について

(3) 第26回臨時評議員会(令和5年7月7日)〔決議の省略〕による開催
議題

① 評議員会議長及び議長代理選任の件

評議員会議長

(就任) 鈴木 英夫 日本製鉄株式会社常任顧問

評議員会議長代理

(就任) 仮屋 和広 JFEスチール株式会社スラグ事業推進センタースラグ企画部長(理事)

(4) 第27回臨時評議員会(令和5年10月30日)〔決議の省略〕による開催
議題

① 評議員選任の件

(補欠就任) 令和5年10月30日付

横川 晋太郎 電気事業連合会立地電源環境部長

(辞任) 令和5年10月30日付

小田 直樹 関西電力株式会社南港発電所副所長

(5) 第28回臨時評議員会(令和5年11月28日)〔決議の省略〕による開催
議題

① 会計監査業務報酬額の決定の件

〔3〕 技術委員会

技術委員会の開催状況は次の通りである。

(1) 第143回技術委員会(令和5年4月11日)〔決議の省略〕による開催
議題

① 技術委員長互選の件

(2) 第144回技術委員会(令和5年5月26日)(WEB会議を併用)

議題

- ① 第14回(令和5年度)助成研究成果表彰の選考の件
② 成果表彰の受賞歴含めた応募および審査要領について

(3) 第145回技術委員会(令和5年7月14日)(WEBによる開催)
議題

- ① 第44回(令和5年度)助成研究の審査分担等について
② 第14回助成研究成果表彰式の開催について
③ 助成研究成果表彰審査要領(案)について

(4) 第146回技術委員会(令和5年10月10日)(WEB会議を併用)
議題

- ① 第44回(令和5年度)助成研究案件の選定について
② 来年度の助成研究募集方針について

2. 広報活動

(1) ホームページの充実・情報の発信

当財団の概要並びに研究助成事業等についてホームページ上にて紹介し、募集開始・応募状況・助成者の決定・成果報告会開催などタイムリーに情報を掲載するとともに、各研究機関・研究者に対して電子メールにより情報を発信した。

(2) 鉄鋼環境基金ニュースの発行

広く関係者が閲覧できるようにホームページに鉄鋼環境基金ニュースを掲載した。

No. (発行月)	主要な掲載内容
第74号 (令和5年4月)	・ 第44回(令和5年度)助成研究募集 ・ 令和4年度助成研究成果報告会の開催状況
第75号 (令和5年8月)	・ 第14回(令和5年度)助成研究成果表彰 受賞者の決定 ・ 第44回(令和5年度)助成研究テーマの応募状況(速報)
第76号 (令和5年10月)	・ 第44回(令和5年度)助成研究テーマの決定 ・ 第14回(令和5年度)助成研究成果表彰 表彰式・記念講演会の開催状況 ・ 第14回(令和5年度)製鉄所見学会の開催状況(4年ぶり)

3. 事務局体制

事務局は下記2名の体制にて事業を推進した。(令和6年3月末時点)

亀谷 岳文 専務理事・事務局長

清水 博之 総務担当部長

附属明細書について

令和5年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上